

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	160 国際標準教育支援事業（旧：国際化教育支援事業）					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市長公室国際都市推進課	
市長公約				係名	国際都市連携係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（間接）	
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市補助金等交付適正化規則 令和4年度つくば市国際化教育事業補助金交付要項			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	国際基準の認定を受けている市内の各種学校
目的	市内で国際標準の教育を受けられる環境の充実を図り、外国からの優秀な人材が集まりやすい地域性を創出する。
概要 (取組内容)	国際基準の教育プログラム実施校として認定を受けている市内の各種学校（「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、日本において学校教育法に基づいて学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たす教育施設のこと）を支援する。 国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校を対象に、認定の取得・維持に係る経費に対する補助金を支出する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	決算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	1,367	68	68	68	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.01	0.01	0.01
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	補助対象学校の児童・生徒数 (人)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	180.0	260.0	280.0	280.0	280.0	280.0
実績	263.0	266.0	285.0	309.0	0.0	0.0
指標の概要	令和4年5月1日の確定値。※プライマリーイヤー課程（幼稚園・小学校相当）、ミドルイヤー課程（中学校相当）、アッパーイヤー課程（高校相当）の合計人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	現地訪問を行い、補助対象経費の詳細や実施されている事業等についてヒアリングを行った。	
成果	外資系企業の事務所設置や外国籍のIT人材の転入等により、インターナショナルスクールへの入学希望者が増加している。補助対象校であるつくばインターナショナルスクール（TIS）では、引き続き国際バカロレアの基準に基づいた受け入れ体制を確保し、定員も280名から335名まで拡充した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	県が旧筑波小学校跡地に新たなインターナショナルスクールを誘致し、令和6年度に開校する見込みである。今後、当該補助金の支給要件を満たすインターナショナルスクールが開校した場合の予算の確保等について検討する必要がある。
改善目標	新たなインターナショナルスクールの開校に関し、県や関係部署と連携して情報収集を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	161 姉妹・友好都市交流事業					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市長公室国際都市推進課	
市長公約				係名	国際都市連携係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					10人や国の不平等をなくそう	
					16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、行政機関					
目的	姉妹・友好都市をはじめとする海外都市・機関等との交流を通じ、教育・文化、経済等の多様な分野でつくば市の特性をいかした事業展開を図る。					
概要 (取組内容)	行政間の視察・意見交換等の実施 市民参加による交流事業の実施 市内の各種機関と海外都市等による交流事業に伴う連携・協力 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳 海外都市・機関等に向けた情報発信					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,177	2,598	2,868	7,363	7,363	
	決算額	(千円)	93	0	5,948	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	93	0	5,948	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,438	3,430	6,931	7,097	7,097	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.21	0.50	0.99	0.99	0.99
		正職員時間外勤務	(時間)	4.00	5.00	77.00	145.00	145.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	姉妹都市・友好都市交流事業への参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	112.0	2.0	40.0	70.0	0.0	0.0
指標の概要	グローバル都市共同体との意見交換6名、ホーム市との意見交換9名、深セン市との青少年交流17名、グローバル日本語補習校との親子交流16名、中国ハイテクフェア1名、韓国大田広域市との交流16名、ホーム市への出張5名						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	行政視察への対応に関し、視察者の要望するテーマに合わせて他部署と連携を図りながら受け入れをすることができた。	
成果	仏グルノーブル都市共同体との意見交換会(4/12)、独ボーフム市との市長間意見交換会(4/22)、中国深セン市との高校生間オンライン交流(7/11, 7/27)と動画交換、TGSWつくばスーパーサイエンスシティシンポジウム(9/28)、市長による独ボーフム市ほか海外都市訪問(11/6-11/20)、外務省主催中国人インフルエンサーによる地域の魅力発信動画制作(2/28)、仏グルノーブル日本語補習校との小学生親子交流(3/25)	
課題	業務	行政視察に関し、つくば市が市内にある大学や研究機関を管轄・運営していると誤解している都市もある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	視察の受け入れ前に、お互いの認識に齟齬がないか、また、どのような内容について知りたいのかをよくヒアリングする必要がある。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	159 外国人生活支援事業（旧：国際交流員・留学生交流員事業）					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市長公室国際都市推進課	
市長公約				係名	国際都市推進係	
戦略プラン	Ⅲ-3	1	1	市役所窓口や消防業務における多言語対応	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					10人や国の不平等をなくそう	

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、市職員
目的	言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減し、外国人住民の生活を支援する。
概要 （取組内容）	外国人相談窓口の運営及び来庁した外国人の通訳・案内 市が発行する文書や冊子等の翻訳 留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行 市ホームページ内に外国人向け多言語情報発信ページを設置（4言語）

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	8,516	7,484	7,520	9,339	9,339	
	決算額	(千円)	6,902	5,235	6,830	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,554	4,992	6,493	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	348	243	337	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,144	12,476	20,013	19,994	19,994	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.80	2.90	2.90	2.90
		正職員時間外勤務	(時間)	140.00	72.00	108.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	相談対応・通訳件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	680.0	680.0	705.0	730.0	755.0
	実績	711.0	576.0	711.0	1,171.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 通訳対応件数及び外国人相談窓口相談件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	秋の住所異動繁忙期に1階に外国人転入者向けブースを設置し、外国人相談窓口チラシや外国語広報紙等を配布し、周知を図った。また、周知先の新規開拓に努め、今まで接点のなかったつくば市内のモスクにも外国語広報紙等の設置を開始した。	
成果	外国人相談窓口件数計：1,171件（英語881件、中国語96件、その他の言語194件） 庁内文書の翻訳件数：合計221件（英語159件、中国語39件、韓国語10件、その他の言語13件） 外国語広報紙（8言語）発行計：年4回で14,420部	
課題	業務	外国人住民数の増加に伴い、相談件数・対応時間ともに増大している。また、複雑かつ長期化しそうな相談対応が属人化する傾向にあり、特定の人に負担が集中してしまっている。
	組織、予算等	各種証明書の請求方法、納税方法などよくある問合せ対応の迅速化を図るとともに、相談対応の属人化を防ぐ体制づくりが必要である。
改善目標	回答内容が定型化できる問合せに対してはマニュアルを作成し、未対応の案件や複合的な案件でも迅速に対応できるようにする。複雑かつ長期化しそうな案件対応の属人化を防ぐため、対応方針や進捗状況を課内で共有し、複数の課員が対応できるようにする。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由		

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	158 多文化共生推進事業					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市長公室国際都市推進課	
市長公約	15			係名	国際都市推進係・国際都市連携係	
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催	新規・継続	継続
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実	事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市グローバル化基本指針				事業体制	補助金（直接）
	根拠法令等	第2次つくば市グローバル化基本指針策定懇話会設置要項				SDGs
				10人や国の不平等をなくそう		
				16平和と公正をすべての人に		

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）
目的	つくば市国際交流協会等と連携し、多文化共生を推進する事業を行うとともに、第2次つくば市グローバル化基本指針を策定し、国際意識の啓発と多文化共生社会の形成を図る。
概要（取組内容）	第2次つくば市グローバル化基本指針の策定 児童生徒の異文化理解促進のための国際理解講座を実施 国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援 外国人住民が日本語を話したり、日本の文化・習慣等に触れることができるイベントの開催

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	35,395	35,844	35,533	51,628	51,628	
	決算額	(千円)	31,742	35,036	29,916	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	31,742	35,036	29,916	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,854	10,738	7,658	7,638	7,638	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.50	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	22.00	200.00	68.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	第2次つくば市グローバル化基本指針案パブリックコメント
企画・立案、計画	第2次つくば市グローバル化基本指針策定懇話会
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	事業の実施数 (事業)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	15.0	16.0	16.0	17.0	17.0	17.0
	15.0	10.0	16.0	17.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 市及び市国際交流協会が実施している多文化共生に関する事業数(市内国際交流活動のみ)					

2	指標名	講座・イベント等の実施回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0
	実績	0.0	0.0	0.0	44.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 市が実施する多文化共生に資する講座・イベント等の実施回数(市内実施分のみ) ※令和4年度から指標に追加					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国際交流拠点の整備により、外国人住民の学びの場の拡充や交流の場づくりのための環境整備を進めている。	
成果	第2次つくば市グローバル化基本指針策定、市立公立小中学校向け国際理解講座：市内13校40講座1,226名、ブラジル人学校での日本文化体験20名、子育て支援センターでの国際交流イベント21名、外国人向け防災講座26名、オンライン等を活用した国際交流協会主催事業：1,175名参加（大人向け日本語講座：214名、子ども向け日本語講座及び進学相談会：734名、世界お茶のみ話：194名、メディカル英会話：33名）	
課題	業務	外国人住民の増加及び在住期間の長期化に伴い、外国人住民が気軽に集い、交流をしたり情報を得たりする場が必要である。
	組織、予算等	外国人住民が集う場の整備が必要である。
改善目標	つくばセンタービルリニューアルに伴う国際交流拠点の整備と併せて、運営を担う（一財）つくば市国際交流協会と連携して外国人の居場所作りを行っていく。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-